

R5 東海市立名和中学校 学校評価シート		○教育目標	・「自ら学び、きびしく自己を律する生徒」「礼儀正しく、互いに協力し合う生徒」「心身ともにたくましく、ねばり強く取り組む生徒」の育成をめざす。
住所	東海市名和町中首羅1-1	○特色ある教育	・合唱活動等の集団活動を通して、愛校心を養うとともに、自他を大切にすることを育む。
電話番号	052-601-2240	○地域の特徴	・コミュニティ・公民館を中心に、中学生ボランティアの活躍の場が多い。
校長名	岸本 良彦		
	17学級（内特支3）		

中期目標	今年度の目標	評価方法 (アンケート項目等)	結果の分析 ()内は、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」の合計、○%→○%は前年度からの変化	課題と対応策	学校関係者評価 令和6年2月8日実施	来年度の改善策 (誰が何をどうする)
自ら学び、きびしく自己を律する生徒	ICT機器を活用し、学ぶ喜びを実感できる授業づくりを行う。	生7 楽しい授業が多い。 生8 わかりやすい授業が多い。 保13 学校は、わかりやすい授業をしている。 教3 生徒たちは、授業の内容を理解している。 教7 わかる授業を実践している。 教8 楽しい授業を実践している。	生7 (63.9→68.3)、生8 (74.8→79.6) から、多くの生徒が授業に対してわかりやすいと回答している。保13 (62.9→55.7) も増加している。今年度はコロナによる制限がなくなり、保護者が授業参観等に参加できるようになったためと考える。	今後もICT機器をうまく活用し、生徒にとってわかりやすく楽しい授業を進めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用することで、生徒たちにとってわかりやすい授業を展開できているようである。先生達の負担が増えていないかが気になる。 生8「わかりやすい授業が多い」が昨年より微増しているのに、教7「わかる授業を実践している」は昨年より減少している。教員の「わかる授業」の目標設定が生徒より高いのだろうか。 ブレザー型の制服が導入されるので、動向を見守っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の活用はもちろんのこと、生徒が意欲的に学習に取り組める方法を考え、実践していく。 「クラス会議」を引き続き実施し、自分の意見を積極的に伝えたり、他者の意見を肯定的に受け止めたりすることのできる生徒を育成していく。 新制服導入を機に、自分たちの生活について、生徒自らが考える場を積極的に設けていく。
	学習基盤（学習規律と学習習慣）を形成する。	生9 授業中、先生や友達の話最後までしっかり聞いている。 生19 家庭学習の習慣が身に付いている。 生22 名和中規律を守っている。 教20 名和中学習規律を徹底するよう指導している。	生9 (87.6→89.2) は増加しており、生徒が授業に意欲的に参加でき、落ち着いた雰囲気であると言える。教20 (89.6→95.0) も増加しており、引き続き落ち着いた雰囲気を保っていきけるようにする。	令和6年度からブレザー型の新しい制服を導入することに伴い、改めて規律を守って生活できるよう働きかけていく。		
	ICT機器を活用し、教師の授業力向上を目指し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。	生11 授業では、先生の説明だけでなく、発言・発表したり活動したりする時間がある。 生12 授業では、問題や課題に積極的に取り組んでいる。 生13 授業では、自分の考えを工夫して発表している。 生14 授業では、友達と意見を交換し、互いに高めようとしている。 教11 生徒を適切に評価している。 教18 授業力向上のために、研修・講習に積極的に取り組んでいる。	どの設問も昨年と同様の数値または増加している。特に生13 (61.9→84.7)、14 (77.4→84.7) は大きく増加した。今年度から現職教育で「クラス会議」を取り入れており、生徒同士が積極的に意見を交流する場を多く設定したことが奏功していると考えられる。	令和6年度も引き続き、現職教育で「クラス会議」を取り入れていく予定である。生徒の自己肯定感を高め、安心して意見を伝え合える学級集団の育成に努めていく。		
礼儀正しく、互いに協力し合う生徒	充実した学校生活を送り、自己や仲間を大切にすることを育む。	生1 名和中学校が好きである。 生3 毎日の学校生活が楽しい。 生6 学校では、元気に明るくあいさつしている。 教5 生徒たちのよいところを認め、褒めている。 保11 名和中学校の先生は、子どもを大切にしている。	生徒の項目は全て増加している。コロナによる制限が解除となり、生徒たちが行事等に思う存分取り組めたことが大きい。	生徒が前向きに取り組めるような学習、行事等を展開し、引き続き楽しい学校生活が送れるようにしていく。	<ul style="list-style-type: none"> 地域であいさつをする生徒はたくさんいる。声をかければ、しっかりと返答してくれる。 PTAの活動としても、あいさつ運動を実施し、学校、保護者が協力してあいさつのできる生徒を育成していく。 生徒が引き続き合唱や行事に積極的に取り組めるよう、支援していく。名和中祭の日程を再考し、生徒が無理なく取り組めるようにする。 	
	郷土愛を育み、地域に貢献しようとする心を育む。	生20 地域の行事に積極的に参加している。 保7 あなたの子どもは、元気にあいさつできる。 地2 名和中学校の子どもたちは元気にあいさつできる。 地5 学校は、地域の活動や行事によく協力している。 教14 校区の地域行事等に向き、実際に参加したり生徒の応援に出かけたりしている。	保7 (65.5→66.2) とわずかに増加したが、地2 (62.6→48.4) と大きく減少している。校内ではあいさつできているが、地域ではあいさつが十分にできていない。	校内だけでなく、地域でも明るく気持ちのよいあいさつができるよう呼びかけていく。地域行事への積極的な参加を呼びかけていく。		
	合唱活動等の集団活動において、支え合い高め合う仲間づくりを推進する。	生2 名和中学校の合唱は自慢できる。 生15 学校・学年行事では、活躍する場がある。 教12 合唱活動を中心にした学校・学年行事について、趣旨を理解し実践している。 教13 合唱活動を中心にした学校・学年行事の成果は上がっている。 保8 合唱活動等の学校・学年行事を通して、生徒の成長が感じられる。 地7 名和中学校は、合唱活動等の学校・学年行事の充実を目指している。	生2 (82.2→88.4)、生15 (73.2→82.6)、教師、保護者の項目も85%以上の高い数値となっている。合唱が集団形成を高める取組となっていると言える。今年度はコロナによる制限がなくなり、さまざまな場面で楽しそうに合唱に取り組む生徒の姿を見ることができた。集団形成においてとても有意義な活動であると再確認することができた。	名和中学校にとって合唱はとても大切であり、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めることができる取組である。今後も引き続き、合唱を取り入れて、生徒の健全育成に努める。		
ねばり強く取り組む生徒	命を尊び、健康で安全な生活を送るための教育を推進する。	生16 困ったとき、相談したい先生がいる。 生17 いじめなどに対して、先生はすぐに対応してくれる。 保3 名和中学校は生徒の安全・安心に配慮している。 教6 教育相談を充実させ、いじめ等の生徒の悩みに適切に対応している。	生16 (57.9)、生17 (77.9)、保3 (68.2)、教6 (100) と差が見られる。教育相談やいじめアンケートなどで生徒が教師に相談できる機会を多く設けているが、生徒は多感な年頃でもあり、本音を打ち明けられているか心配である。	生徒が教師に相談しやすい学級、学年づくりができるよう研修などを進める。また、生徒指導部会や適応指導部会などを活用して、生徒の様子を教師全体が把握し、多くの教師で生徒に関わっていく。	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育として、今後の自分の生き方について考えていくことは、とても重要である。一つの道だけでなく、選択肢を増やしていけるとよい。 学校から外に出てさまざまな体験をすることは、生徒にとって有意義である。コロナも5類になっており、ぜひ機会を増やしてほしい。 	
	キャリア教育を通して、生きる力の育成を図る。	生21 自分の将来について、考えている。 地6 学校行事で地域が協力できることがもつとある。 保10 名和中学校から協力依頼があれば、できるだけ協力したい。 教21 生徒の将来を展望し、体験的な活動を工夫している。	生21 (68.7→73.4)、地6 (62.5→74.2)、保10 (62.9→63.4) と増加した。地域の活動も再開し、ボランティアに積極的に参加する生徒が増えた。今後も地域と連携しながらキャリア教育を進めていきたい。	コロナによる制限がなくなり、外部講師などを招聘したり、実際に体験したりする機会が増えていくと思われる。将来設計について多面的に考えさせる機会を積極的に作っていく。		
	学校・学年行事を通して、仲間とともに最後までやり遂げる力を育成する。	生5 仲間と協力して、積極的に学校・学年行事に取り組んでいる。 教22 学校・学年行事で、生徒が自己の成長を感じ、自己肯定感を得られるように指導している。	生5 (90.0→93.6)、教22 (96.5→100) とどちらも高く、特に生5は、全項目でいちばん高い数値となった。仲間と協力すること、積極的に取り組むことで生徒が充実感を得ている。	生徒と教師が1つになって、生徒のがんばりを認める雰囲気を醸成する。今のよい状態を維持しながら、生徒の自己肯定感をさらに高めていく。		
地域の中で育つ生徒	保護者・地域への迅速かつ丁寧な情報発信と情報収集に努める。	生18 学校だよりや学年だよりなどの学校からの配付物を、きちんと家の人に渡している。 教15 生徒たちの健全育成のため、教職員間や地域との関係機関との情報交換を行っている。 教17 学校だより、ホームページ、学校ブログ等を通じて、学校の様子を知らせている。 保5 名和中学校からの通信に、保護者の知りたい情報が盛り込まれている。 保6 名和中学校は、家庭の願いや声を聞いてくれる。 地4 学校からのお知らせ(たより・ホームページ等)により、学校の様子がわかる。	生18 (74.2→77.9) はやや増加、保5 (78.9→76.5) はやや減少している。今年度から市内一斉に導入されたメール配信システム(Nメール)により、重要度や緊急性の高いものは直接保護者に配信することができるようになった。今後も学校だよりやホームページ等で学校の様子を発信していく。	生徒の活動の様子を学校だよりで伝えていく。さらに、ホームページやブログを活用して、タイムリーな情報発信を心がける。また、保護者の声にしっかりと耳を傾け、改善が必要な内容は、学年で共有し、迅速に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> 欠席連絡がNメール(eメッセージ)で行われるようになったのはよい。 情報発信の方法として、毎月発行される学校だよりに学校ホームページへのリンク(二次元バーコード)を掲載するとよいのではないかと。さまざまな方法を工夫し、学校ホームページへのアクセスが増えるとうい。 緑陽コミュニティ主催の行事や東海ハーフマラソンには、多くの生徒がボランティアとして参加した。今後もぜひ、地域の一員として行事に参加してほしい。 	
	地域行事等への参加や学校支援者(地域講師)を教育活動に導入する等、地域との相互交流の場を模索する。	生20 地域の行事に積極的に参加している。 教14 校区の地域行事に向き、実際に参加したり生徒の応援に出かけたりしている。 保2 あなたの子どもは、校区の行事に積極的に参加している。 地5 学校は、地域の活動や行事によく協力している。	生20 (36.7→48.9)、保2 (49.7→55.5)、地(71.9→74.2) とそれぞれ増加した。コロナによる制限がなくなり、多くの地域の行事が復活したことが大きい。今後も地域と連携していきたい。	従来通りの活動ができるようになってきており、中学生が地域の一員として活躍することがますます求められている。ボランティア等への積極的な参加を呼びかけていく。		
	校区の2小学校との連携・交流をできる限り行い、小中9年間を見通した教育活動を実現する。	教19 小学校時からの生徒の実態をつかみ、個に応じた指導を心がけている。	教(89.6→95.0) と増加した。今後も引き続き、小学校との連携を密にし、生徒の実態に応じた指導を進めていく。	引き続き小学校と意見交換を行い、生徒の実態把握に努める。		